

芳賀町2050カーボンニュートラル

実現計画の概要

世界的に問題となっている地球温暖化防止のための取り組みカーボンニュートラル。法律でもカーボンニュートラルの取り組みが定められました。今回は、芳賀町が策定したカーボンニュートラル実現計画の概要をお伝えします。

■計画策定の主旨

地球規模で増え続ける温室効果ガスの排出削減のため、国と県は、2050年度までに温室効果ガスであるCO₂の排出を、全体として実質0にする「2050年カーボンニュートラル実現」を目指す宣言を行いました。芳賀町でもこの宣言に合わせ、実行計画を策定しました。それが「芳賀町2050カーボンニュートラル実現計画」です。

○計画の位置付け

この計画は、町の最上位計画である「第7次芳賀町振興計画」を、カーボンニュートラルの視点からも確実に執行するための重点事業として位置付けられています。

○計画の骨子

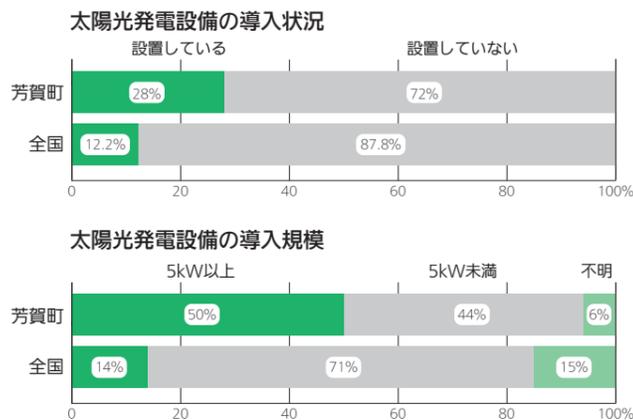
この計画は、町全体のCO₂の排出を削減する計画（区域施策編）、行政サービスを行う役場の活動から排出されるCO₂の削減計画（事務事業編）、そして気候変動に対応する計画（気候変動適応計画）の3つの計画から構成されています。

■カーボンニュートラル町民アンケート調査結果について

昨年10月、町民の皆さんのエネルギー消費の実態やカーボンニュートラルに関する意識調査を目的に、アンケート調査を実施しました。ご回答いただき、ありがとうございました。

期 間	令和5年10月～11月
調査対象	1,000世帯
回収率	49.6%

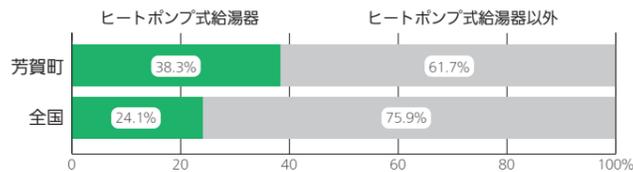
その1 自宅に太陽光発電設備を設置していますか？



太陽光発電設備の導入率は28%で、全国平均の12%を大きく上回っています。

設置している世帯の55%が5kw以上の容量の設備を設置しています。

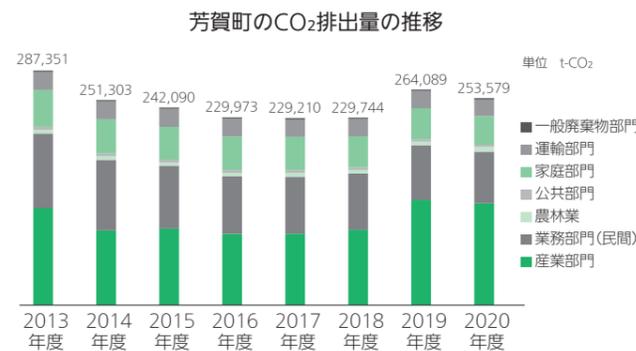
その2 どのような種類の給湯器を設置していますか？



ヒートポンプとは再生可能エネルギーを使用する給湯器のことで、38%の世帯に設置されています。全国平均の24%を上回る結果となりました。

※全国の調査結果出典：環境省

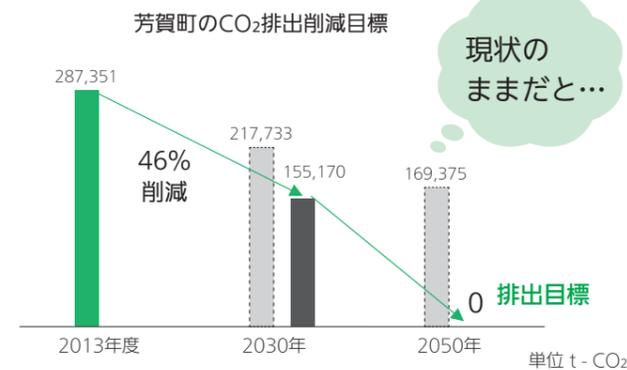
■芳賀町のCO₂排出状況 ※出典：環境省



芳賀町における2013年からの排出量の推移です。2020年度の排出量は、253,579tと推計されています。

■芳賀町のCO₂の排出削減目標

国の地球温暖化防止対策計画や栃木県のロードマップを踏まえ、芳賀町では、2030年度までにCO₂排出量を基準年度(2013年度)と比べて、46%削減を目標とし、2050年度までに実質ゼロを目指します。



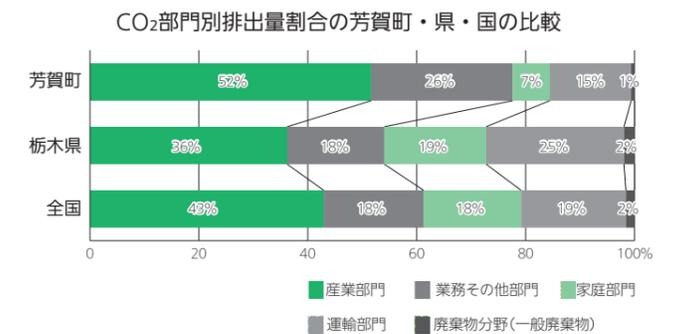
トピックス 芳賀町環境審議会からの答申

3月18日(月)に芳賀町環境審議会の樋口会長（福島大学教育研究院教授）から大関町長に「芳賀町2050カーボンニュートラル実現計画」の内容について、答申を行いました。



まとめ

町では、2050カーボンニュートラルを実現するために、さまざまな施策を展開していきます。広報はがや芳賀チャンネルでお伝えしていきますので、できることからご協力をお願いします。



栃木県や国と比較すると、芳賀町のCO₂排出量は、産業部門と業務部門に占める割合が多いことがわかります。

目標達成に向けた取り組み事例

- 産業部門での取り組み
 - ①再生可能エネルギー、省エネ機器の導入
 - ②省エネ診断の活用による改善
- 家庭部門での取り組み
 - ①ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)への取り組み
 - ②家庭用ヒートポンプの導入
- 廃棄物部門での取組
 - ①循環型社会「環の町芳賀」の実践
 - ②もえるごみの減量化とリサイクルの推進